

笠間日動美術館 2025 年度 特別展

中井精也写真展 Happy Train! ～輝く季節の中で～ 2025 年3月 15 日(土)～5 月 25(日)

鉄道の魅力を新たな視点でとらえ、これまでにない鉄道写真のジャンルを切り開いてきた中井精也。鉄道路線が走る周囲の風景や人々の暮らし、乗車中に感じるのんびりした雰囲気など、旅情に満ちたあたたかみのある写真は多くの人々を惹きつけ、雑誌やテレビなど活躍の場を広げてきました。20年間続けているブログ「1日1鉄!」に毎日1枚の写真とともに彼が綴る言葉は、私たちの心に優しいエールを届けてくれます。同会場では、鯉江充による鉄道のジオラマ作品を展示します。



《肥薩線 大畑駅》

特別協力 エプソン・小学館／企画制作 M&MCOLOR

日本の洋画 130 年 珠玉の名品たち

明治維新の大きな時代のうねりの中、日本近代洋画は本格的に幕を開けました。西洋画の迫真性に魅せられ洋画を志した高橋由一に続き、五姓田義松や黒田清輝、藤島武二らは渡欧して西洋画を学び、その礎を築きます。大正期には萬鉄五郎や岸田劉生らが独創的な作品を制作。またフランスで前衛的な美術に触れ帰国した梅原龍三郎や安井曾太郎らは日本的油彩画を確立しました。当館館長、副館長の作品にまつわる思い出とともに、高橋由一が師事したチャールズ・ワーグマンから現代洋画界を牽引する奥谷博まで、およそ 130 年にわたる日本の洋画史を所蔵名品でたどります。



森本草介《微睡の時》1984 年

ワンダー・アニマルズ-アートで感じる命のふしぎ- 2025 年 7 月 26 日(土)～9 月 28 日(日)

同時開催 第 9 回全国こども絵画コンクール in かさま

ペットを家族のように感じたり、猛獣に恐れや憧れを感じたり、神秘的な動物を神様のように感じたり…動物にはひとことでは言い表せない不思議な魅力があります。そんな“ワンダーな感覚”が作家たちの創作意欲を掻き立て、多種多様な方法で表現させてきたのかもしれません。本展では絵画作品を中心に、ガラス、彫刻など多彩な動物アートを紹介。「第9回全国こども絵画コンクール in かさま」とあわせてお楽しみください。



原太一「今夜は祭り!」2018 年

長渕剛 第六回詩画展 希望

2025年10月4日(土)～12月14日(日)

12年ぶり！最新作「希望」初公開

長渕剛が放つ“魂の筆”の集大成【第六回詩画展 希望】

本展では、大作《鯉のぼり》をはじめ、初期から新作まで、50点を超える作品を展示します。

「ロックに生きる」を地で行く長渕の魂が込められた詩画の数々を是非、ご覧ください。

ファッションとアートの幸福な関係

2026年1月2日(土)～2月15日(日)

アートとファッションは、切っても切れない関係にあります。モデルが身にまとう衣服も絵画を構成する大事な要素のひとつであり、画家はその形や色彩を表現手段として最大限に利用してきました。人物が身に着けているものに注目して、絵画を鑑賞してみましょう。また、人形は最新ファッションの伝達に使われてきたという側面があります。画家・児玉幸雄旧蔵のアンティークドールコレクションから、あどけない人形の表情や繊細なレースやリボンに縁どられた衣装をご覧ください。



ゴーチェ ファッションドール 1870年代

渡邊榮一展 Retrospective Exhibition(仮題)

2026年2月21日(土)-4月12日(日)

渡邊榮一は1970年、日動画廊主催の「第1回版画グラン・プリ展」にてグラン・プリを受賞し、画壇にデビューしました。以降、版画の制作活動を経て、油彩を主にしたミクストメディアの手法で独自の世界観を追及しています。長年取り組んでいるテーマである『少年王國』は、渡邊が主人公の少年と化して登場する夢の物語です。近年においては著名な画家や絵画へのオマージュなども描かれます。本展では銅版画とミクストメディアの作品を展示し、1969年から現在にいたる渡辺の画業の軌跡をたどります。



「少年王國(かつて存在したかもしれない物語が)」 2020年

.....
ご取材・ご紹介などのご協力をお願い申し上げます。

都合により変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

お問い合わせ

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 日動画廊内 TEL:03-3571-2553 FAX:03-3289-4446

学芸部長 金澤 kanazawa@nichido-garo.co.jp

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館 TEL:0296-72-2160 FAX:0296-72-5655

学芸員 鴻村 komura@nichido-museum.or.jp 大友 otomo@nichido-museum.or.jp